

事業名：おもちゃ図書館運営費補助金

福祉課 地域福祉係

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実								
施策	04 障がい者福祉の充実								
基本事業	04 療育指導の充実								
開始年度	昭和63年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
おもちゃ図書館を運営する団体	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「江別市おもちゃ図書館運営費補助金交付要綱」に基づき、「おもちゃ図書館」の運営に必要な下記の経費を予算の範囲内で補助する。 〈交付対象経費〉 ・購入費 ・行事費 ・事務費 ・通信費 ・交通費 ・消耗品費 ・負担金	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
おもちゃ図書館活動を円滑に継続させて、障がい児の療育を支援する。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	おもちゃ図書館を運営する団体数	団体	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	360	360	360	360
活動指標2						
成果指標1	利用者数（年間）	人	314	489	498	489
成果指標2	おもちゃの貸出点数（年間）	点	394	466	0	0
事業費(A)		千円	360	360	360	360
正職員人件費(B)		千円	803	802	781	782
総事業費(A+B)		千円	1,163	1,162	1,141	1,142

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	おもちゃ図書館の運営費（購入費、行事日など）の一部に対し補助金を支出	おもちゃ図書館を運営する江別市女性団体協議会への補助金 360千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化
おもちゃ図書館は、ボランティア活動として運営され、おもちゃ貸出及び各種行事の開催等により障がい児の機能回復とともに、障がい児・親とボランティアとの交流の場としての機能を果たしているが、地域療育の中核機関として15年度に「子ども発達支援センター」が設置されたことから、当センター事業との連携、整合性が図られてある。

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 おもちゃ図書館はボランティア活動により運営されているが、障がい児の機能回復のほか、障がい児・親とボランティアとの交流など、地域福祉的な役割を果たしていることから、その円滑な運営のために市が補助することは、妥当である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 上記（1）のとおり、障がい児福祉の面で、貢献度はある。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 おもちゃの利用や貸出の要望に概ね対応できており、また、各種の行事開催も年数回も行われるなど、障がい児の機能回復やその親への子育て支援に成果がある。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 デイサービス、日中一時支援等の施設が増えてきている。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由 根拠 補助は、おもちゃの更新、会議費、行事費等の運営基盤経費がその中心となっており、更なる削減は難しい。